

# 競技注意事項

## 1 競技規則について

本大会は、2018年度日本陸上競技連盟競技規則、及び本大会の申し合わせ事項によって実施する。

## 2 招集について

- (1) 招集所は第2ゲート付近に設ける。
- (2) 種目別招集開始・完了時刻は、プログラムの競技日程に記載している。
- (3) 招集の方法については、次の通りである。
  - ① 招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際、ナンバーカード・スパイクピン・商標の点検を受ける。トラック競技のみ腰ナンバー標識(2枚)を受け取る。
  - ② 携帯電話等、競技規則144条3(b)に関わる機器を持ち込んでいないか確認を受ける。
  - ③ 代理人による最終点呼は認めない。2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が、TICに用意した「2種目同時出場届」に記入し、1種目目の招集時に招集所へ提出する。
  - ④ 招集完了時刻に遅れた競技者は出場できない。

## 3 ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは、3枚配布する。(胸・背・手荷物用)(競技規則第143条7,8を遵守)
- (2) ナンバーカードとIDカード・プログラムの配布については、次の時間帯に第2ゲート付近の選手受付で行う。

・21日(木)	<u>10:00</u> ~ 17:00	・22日(金)	<u>10:00</u> ~ 18:30
・23日(土)	<u>10:00</u> ~ 19:00	・24日(日)	<u>10:00</u> ~ 15:00

## 4 競技場内への入退場について

- (1) 招集所から競技者係の誘導により競技場に入場する。
- (2) 競技終了後は、競技役員の指示に従いミックスゾーンとPECR(ポスト・イベント・コントロール・ルーム)を通り退場する。なお、決勝においては1~3位の競技者を入賞者控室に誘導する。

## 5 競技の抽選、及び番組編成について(レーン順・試技順)

- (1) トラック競技の予選のレーン順・フィールド競技の試技順は、スタートリストに記載した順(欠場者を除いた競技者により大会前日のプログラム編成で決定)による。決定されたレーン順・試技順は、前日17時までに番組編成掲示板(TIC横)に掲示する。
- (2) トラック競技の準決勝以降の組み合わせ、及びそのレーン順は番組編成掲示板に掲示する。
- (3) タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定について、最終枠に同記録があるときの処置は、写真判定主任が0.001秒単位の実時間を判定して出場者を決定する。それでも決定できない時は抽選とする。(競技規則第167条2)

## 6 競技について

- (1) トラック競技について
  - ① トラック競技の計時は、すべて写真判定装置を使用する。
  - ② レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空ける。
  - ③ 短距離種目では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走る。
  - ④ 競技規則162条7により、不正スタートをした競技者は1回で失格とする。
- (2) フィールド競技について
  - ① 投てき競技の計測は、すべて光波距離計測器を使用する。

- ② 跳躍、及びやり投の競技者は、助走路の外側(走高跳は助走路内)に主催者が準備したもの、または承認したマーカーを2個まで使用することができる。また、サークルで行う投てき競技は、マーカーを1つだけサークル外側に使用することができる。
- ③ 棒高跳の競技者は、「棒高跳支柱移動届」をTICで受け取り、自分の希望する支柱の位置を記入し、招集開始時に招集所に提出する。その後、位置を変更したい場合は担当競技役員に申し出る。
- ④ 三段跳の踏切板は、砂場から男子13m、女子11mの地点に設置する。
- ⑤ フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の手配に従う。
- ⑥ フィールド競技が行われる近傍のスタンドに「コーチ席」を設ける。
- (3) 競技者はビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話、もしくは類似の機器を競技場内で所持または使用することはできない。
- (4) 競技者は勝手に競技場所を離れることはできない(競技規則第144条3(b)・4)。また、競技場内に持ち込まれるバッグの中身は招集所で確認される。
- (5) 不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外される。警告はイエローカード、除外はレッドカードを示すことによって競技者に知らされる。
- (6) 欠場する者は、本選手権大会規定の「欠場届」(TICにも用意)に必要事項を記入し、次の要領で届けること。届けずに欠場した者は、その後の本連盟、加入団体主催または後援する競技会に出場を認めない処置を講ずることがある。
- ① 大会第1日目【6月22日(金)】に出場種目がある競技者が欠場する場合は、6月20日(水)の9時～15時までに、下記の届け出先までにFAXで届け出る。FAX送信後、必ず電話で確認すること。
- ② 大会第2日目【6月23日(土)】に出場種目がある競技者が欠場する場合は、6月22日(金)の9時～12時までに、下記の届け出先までにFAXで届け出る。FAX送信後、必ず電話で確認すること。
- ③ 大会第3日目【6月24日(日)】に出場種目がある競技者が欠場する場合は、6月23日(土)の9時～12時までに、下記の届け出先までにFAXで届け出る。FAX送信後、必ず電話で確認すること。
- 《届け出先:3日間とも》 山口陸上競技協会事務局  
※電話/FAX 083-920-6125
- ④ 大会第2日目(6月23日)、大会第3日目(6月24日)の欠場届は、上記の日付と時間帯にTICでも受け付ける。

## 7 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

- (1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、最後の一人になり優勝が決定するまでは次の通りとする。(ただし、天候等の状況により変更することもある)

種目	種別	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	以降
走高跳	男子	2m00 2m10	2m05	2m10	2m15	2m20	2m25	2m28	2m30	2m32	2cm
	女子	1m60 1m70	1m65	1m70	1m74	1m77	1m80	1m82	1m84	1m86	2cm
種目	種別	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	以降
棒高跳	男子	任意の高さ	5m00	5m20	5m30	5m40	5m50	5m60	5m70	5m75	5cm
	女子	任意の高さ	3m70	-	3m90	4m00	4m09	4m14	4m19	4m24	5cm

- (2) 棒高跳の公式練習について

- ① 棒高跳に出場する競技者は、招集完了時刻(競技開始男子90分前、女子150分前)以前には競技場所には入場できない。
- ② 公式練習はゴムバーで行う。
- ③ 任意の高さ、及び棒高跳支柱の位置で試技順に2回行う。

## 8 競技用具について

棒高跳用ポール以外、競技に使用する用具は主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、投てき用具リストにはない、もしくは1つしかない品番のもの(日本陸上競技連盟検定品に限る)は持ち込みを認めるので、希望者は各招集完了2時間前から1時間前までに、持ち込む投てき用具とともに「投てき用具検査申請書」をTICに持参し、指示を受ける。受け付けた「投てき用具」については、「預かり証」を発行する。検査に合格した「投てき用具」については、一括借り上げし、参加競技者間で共有できるものとし、競技終了後にTICで「預かり証」を確認のうえ返却する。

## 9 競技用靴について(競技規則第143条2, 3, 4, 5, 6参照)

スパイクピンの長さは、9mm以内。走高跳・やり投は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。

## 10 結果発表と抗議について

- (1) 各種目の結果発表は大型映像、およびアナウンスで行う。
- (2) 発表された結果に対する抗議は、競技規則第146条に定められている時間内(同一日に次のラウンドが行われる場合にはアナウンス後15分以内、それ以外は30分以内)に、競技者自身または代理人が、TIC・担当総務員を通じて審判長に対して口頭で行い、控室で裁定を聞く。さらに、この裁定に納得できない場合は預託金(1万円)を添え、担当総務員を通じて Jury に文書で申し出る。

## 11 表彰について

- (1) 各種目の1位から3位の競技者の表彰は、正面スタンド前インフィールド内の表彰台で行う。
- (2) 各種目の1位の競技者には、カップと賞状とメダルを、2位・3位の競技者には賞状とメダルを授与する。4位から8位の競技者には賞状を授与する。
- (3) 4位から8位までに入賞した競技者には、その種目のアナウンスによる正式結果発表後30分を経過してからTICで賞状を渡す。
- (4) 最優秀選手男女各1名を表彰する。

## 12 ドーピングコントロールテストについて

### (1) ドーピングコントロール

国際陸上競技連盟アンチ・ドーピング規則および規程、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づいて行われる。本大会の前もしくは後のドーピング検査では、尿又は血液(或いは両方)の採取が行われる。該当者は指示に従って検査を受けること。日本陸上競技連盟に登録していない競技者も同様に従うこと。尚、競技会時、ドーピング検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。

### (2) TUE申請

禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は“治療使用特例(TUE)”の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のホームページ(<http://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>)、又は日本アンチ・ドーピング機構ホームページ(<http://www.playtruejapan.org/>)を確認すること。

### (3) 18歳未満の競技者の親権者からのドーピング検査に対する同意書の取得

世界アンチ・ドーピング規程、同国際基準、及び日本アンチ・ドーピング規程により、18歳未満の競技者が競技会に参加する際、親権者からドーピング検査に関する同意書を取得することが必要となる。

- ① 本大会に参加する18歳未満の競技者は、同意書を熟読し、署名、捺印の上、同意書の原本を大会に持参し、携帯すること。同意書は<http://www.jaaf.or.jp/pdf/doisho.pdf>からダウンロード出来る。
- ② 18歳未満の競技者はドーピング検査に指名された時に、原本をドーピング検査室にてNFR(陸連医事代表)に提出すること。提出は未成年時に1回のみで、同意書の提出後に再びドーピング検査に

指名された場合は、すでに原本を提出済みであることをNFRに申し出ること。会場において、原本の提出がなくとも、検査は行われるが、検査後7日以内に日本陸連事務局に原本を提出すること。

### 13 一般注意事項

- (1) 競技場内で着用するウェアや持ち込むバッグ等に表示されている商標は、「競技会における広告及び展示物に関する規程」に示すサイズ・個数を超えてはならない。これに違反したものについては主催者で処置する。
- (2) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡する。
- (3) 競技場での疾病・傷害等の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
- (4) 更衣室は補助競技場に隣接した野外音楽堂に設けるのでそちらを利用する。更衣室は更衣にのみ使用し、荷物は各自で管理する。
- (5) 大会期間中の貴重品の保管は各自で行う。盗難にあってもその責任は負わない。
- (6) 届けられた遺失物についてはTICで保管する。保管期間は、6月24日(日)競技会終了までとする。それ以降は山口陸上競技協会事務局に連絡すること。(電話 083-920-6125)
- (7) 記録はその都度発表するが、TIC横に設置する記録掲示板に印刷物で掲示する。
- (8) 「記録証明書」を希望する競技者は、TICに500円を添えて申し込むこと。
- (9) スタンドを含む競技場内での応援用のぼり・旗等の固定は禁止する。
- (10) 送付された棒高跳用ポールの受け渡しは、TICで指示する。また、棒高跳用ポールの返送(有料)は、競技終了後、TICに申し出ること。
- (11) 競技者及びコーチには、受付時に大会主催者申し合わせ事項により、IDカードが渡される。コーチIDカードについては、参加者1名は1枚、2名から3名は2枚、4名から5名は3枚、6名以上は4枚とする。IDカードで行動できる範囲は、維新みらいふスタジアムと補助競技場観客席とするが、競技者は競技に出場時のみ競技場内に入ることができる。IDカード使用者は、場内を移動する場合は必ずIDカードが確認できるよう携帯する。
- (12) 提出書類は次の通りとする。(用紙はTICに用意)

	提出するもの	提出場所	提出時刻
1	欠場届	TIC	招集完了時刻まで
2	2種目同時出場届	招集所	1種目目の招集時
3	投てき用具検査申請書	TIC	招集完了1時間前まで
4	棒高跳支柱移動申告用紙	招集所	招集時
5	上訴申立書(預託金1万円)	担当総務員	競技規則第146条7による
6	記録証明書	TIC	TIC閉鎖時刻まで

- (13) 荒天により競技を一時中断もしくは延期することがある。
- (14) 一部のトラック決勝種目において、第2ゲートからの入場演出を予定している。対象種目は招集時に競技役員が案内する。尚、天候によって入場演出は行わない場合がある。

### 14 練習会場の使用について(練習会場注意事項)

- (1) 練習は、各個人が指定された場所・時間で行い、事故防止には万全を期す。なお、練習中に発生した疾病・傷害等については、応急処置は主催者において行うが、以後の責任は問わない。
- (2) 練習に必要な用器具は、主催者が準備するが、持参した個人の用具も使用できる。
- (3) 荷物などは、個人が責任を持ち管理する。
- (4) 会場内への入退場は、必ずIDカードを明示する。また、コーチは会場において、常にIDカードが確認できるように携帯する。
- (5) 雨天練習場はバックスタンド下を使用できる。競技役員の手配のもと、安全に十分留意して行うこと。

(6) 補助競技場での練習は次の通りとする。

① 競走路の使用は、原則として以下の通りとする。

- ・1～2レーン:中・長距離 ※車いす(1500m)24日(日)
- ・3～6レーン:短距離(スタートダッシュはホームストレートスタート地点)
- ・7～8レーン(第1曲走路からバックストレート、及び第2曲走路):400mハードル
- ・7～8レーン(ホームストレート):100mハードル・110mハードル

② 跳躍種目・投てき種目は練習会場使用日程通り、それぞれの種目の練習を行うことができる。記載された時間以外は認めない。担当競技役員の指示のもと、安全に十分留意して行うこと。

		6月21日(木)	6月22日(金)	6月23日(土)	6月24日(日)
補助陸上 競技場	トラック	10:00～17:00	10:00～20:30	10:00～21:00	10:00～18:30 12:30～14:30(車いす)
	走幅跳	10:00～17:00	10:00～17:00	10:00～17:00	
	三段跳	10:00-13:00(女子) 14:00-17:00(男子)	10:00-13:00(女子) 14:00-17:00(男子)	11:30-13:30(女子) 14:00-17:00(男子)	12:30-14:30(男子)
	走高跳	11:00-15:00(女子) 15:00-17:00(男子)	10:00-14:30(女子) 14:30-17:00(男子)	13:30-17:00(男子)	12:00-14:00(男子)
	棒高跳	11:00-14:00(女子) 14:00-17:00(男子)	10:00-13:00(女子) 14:00-17:00(男子)	12:00-15:00(男子)	
	砲丸投	11:00-17:00	11:00-17:00	11:00-13:30(女子) 13:30-17:00(男子)	11:00-13:00(男子)
	やり投	11:00-13:00	11:00-13:00	11:30-14:00(女子) 15:30-17:30(男子)	
ちよるる 広場	円盤投	13:00-15:00	12:30-14:00	12:00-16:00	10:30-12:30(女子) 12:30-15:00(男子)
	ハンマー投	15:00-17:00	10:30-13:00(女子) 13:30-16:30(男子)		

※補助陸上競技場において、やり投練習時間は、芝生内への立ち入り規制を行う。